

公明党 鈴木ひでし

就業支援窓口を実現

第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。現在、文教常任委員会、経済・産業振興特別委員会に所属

皆さまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和元年6月の県議会定例会で提言した、「プラチナ世代向けの就業支援の充実について、このたび県の中高年齢者向けの就業支援施設「シニア・ジョブスタイル・かながわ」に、「プラチナ世代専用窓口」が開設されましたので、報告します。

社会環境整備の必要性書によれば、現在仕事をしている60歳以上の約4割が「働けるうちはいつまでも働きたい」と回答しています。

令和元年版高齢社会白書によれば、現在仕事をしている60歳以上の約4割が「働けるうちはいつまでも働きたい」と回答しています。

元気でアクティブなシニアは、「シルバー」というほど地味ではなく、色褪せずに輝き続けるという意味で「プラチナ世代」とも呼ばれていますが、私は、シニアがプラチナのように輝き続けられるように、社会環境を整備していくことが必要だと考えています。

プラチナ世代が働くことで力を発揮しようと場合に、身近な地域で自分の体力やライフスタイルに合った形で働くこ

とを希望するなど、現役時代とは異なる仕事を探す方もいると思います。一方、長年勤めていた会社を退職し、これからどんな仕事をしたらよいのかわからない、どのように自分に合った仕事を探したらよいか悩んでいらっしゃるといった方もいるのではないかでしょうか。

社会環境整備の必要性書によれば、現在仕事をしている60歳以上の約4割が「働けるうちはいつまでも働きたい」と回答しています。

こうしたことから私は、令和元年第2回定例会で、黒岩祐治知事に「プラチナ世代が生き生きと長く活躍できるよう、就業支援の充実が必要」と提言しました。

知事はセカンドキャリアとしての働き方の助言などをため、プラチナ世代相談コーナーのよう65歳以上の専用窓口を設置すると答弁。「プラチナ世代専用窓口」という形で実現しました。

こうした中、このたび専用窓口が開設されたことは、プラチナ世代が社会でますます活躍するための大きな一步です。引き続き、プラチナ世代への就業支援がより充実したものとなるよう、全力で働いてまいります。

■シニア・ジョブスタイル・かながわ（横浜市西区北幸1の11の15横浜STビル5階）、利用時間（月～土）午前9時30分～午後6時（受付5時30分迄／日・祝・年末年始休業）問 045・4123、FAX 045・4125・5400



設置された専用窓口



モットーは「まかせて安心!
いのちと生活を守る!鈴木ひでし」。

第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。現在、文教常任委員会、経済・産業振興特別委員会に所属

HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

5・412・5400